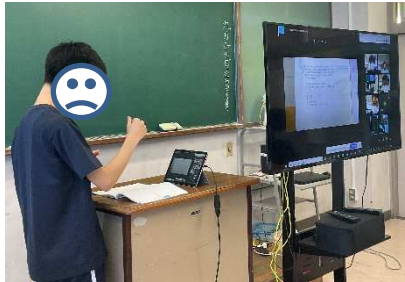



教材・支援機器活用実践事例【ICT】

オンラインで相手に伝えるための ICT 活用 「GoogleMeet の画面共有機能」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準ずる課程で学んでおり、音声や手話を利用して伝え合うことができる。 ・ 順序だてて伝えたり、根拠を明確にして伝えたりすることを目標としている。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	数学
	単元(題材)名	単元名「推論(順序関係・正誤の判断)」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章問題から論理的に試行し、内容の正誤を判定する。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>GoogleMeet の画面共有機能</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>タブレットに書きこみ ながら説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内容についてオンラインの 接続先と意見交換</p> </div> </div>
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン上の相手に図を書いたり解説を加えたりしながら、問題の解答について解説することができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明したい内容を整理して伝えられるように、タブレットの画面に書き込みできるようにする。 ・ 質問に答える場面を設けることで、相手にどのように伝えればよいか、情報を整理して考えられるようにする。
	材料・作成方法等	タブレット端末、GoogleMeet (画面共有)
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を整理したり整理した情報を簡潔に伝えたりという練習を授業の中で繰り返し行うことで、情報活用能力の「必要な情報を収集、整理、分析、表現」できる力が育まれてきた。